



れ、正面女性側には富士山、男性側には鯉のタイル絵がアクセントとしてひとときわ目を引く。カラン（蛇口）の下に桶置き台がある。これは東日本の銭湯にはなく、主に関西地方の銭湯に多い構造でもある。

最後に訪れた「千歳湯」は上新地町の幅約15mほどの路地に面している。しかし構造は独特で、道路に平行して手前が男湯、奥の女湯は、番台と奥の自宅玄関からも入ることができるというユニークなものである。

浴室は基本的には前出のえびす湯と似ていた。千歳湯のすぐ前にはお好み焼屋（メニューにはモダン焼きとある）さんがあるが、アルコールは置いていないとのこと。近所の子供相手だろうか。もっともこの付近はかつての色街の建物も一部残っている。何やら私の触覚が大きく動き始めた。どうやら下関は銭湯だけではなく他にも興味深い対象が人知れず潜んでいる魅力的な匂いのする街のようだ！

つづく…



入浴マナー

- 身体をよく洗って入る。
- 湯向にタオルをつけない。
- 湯向で顔を洗わない。
- 氷いたり、暑ったりしない。
- 浴室での飲食はできません。
- 洗濯はお断りします。

お風呂
の
マナー
お風呂
の
マナー
お風呂
の
マナー



お風呂
の
マナー
お風呂
の
マナー

お風呂
の
マナー
お風呂
の
マナー